

第八十二回帝國議會
衆議院

農業團體法案外一件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
農業團體法案(政府提出)(第四五
號)
水産業團體法案(政府提出)(第四
六號)

昭和十八年二月六日(土曜日)午前十時二十
七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東郷 實君

理事白川 久雄君 理事恒松於菟二君

理事成島 勇君 理事西川 貞一君

理事濱地 文平君 理事山田 六郎君

理事吉田 正君

青山 憲三君 赤城 宗徳君

石坂 繁君 五十嵐吉藏君

馬岡 次郎君 岡田啓治郎君

奥 久登君 越智太兵衛君

加藤 知正君 金子彦太郎君

北 勝太郎君 鈴木 重次君

杉山元治郎君 高橋熊次郎君

高田 耘平君 土屋 源市君

中井 亮作君 中川 寛治君

平野 力三君 松浦 伊平君

松原五百藏君 松山常次郎君

前川 正一君 間宮 成吉君

森部 隆輔君 山口左右平君

山口馬城次君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

農林省總務局長 重政 誠之君

農林省水産局長 寺田 省一君

農林書記官 藤田 巖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業團體法案(政府提出)

水産業團體法案(政府提出)

○東郷委員長 會議ヲ開キマス、質疑ニ入
ル前ニ二、三御相談申上ゲマス、質問通告
者ガマダアト二十數名アル譯デアリマスガ、
昨日來ノ模様カラ見マシテモ、餘程勉強シ
ナイト簡單ニ済マヌヤウニ思ヒマス、ソコ
デ此ノ委員會ノ當初ニ申上ゲマシタヤウニ、
最初ニ法案其ノモノ直接ノ事項ニ付テノ質
疑ヲ終ヘテ、引續キ是等ニ關聯スル一般ノ
質問ニ移ツタノデアリマスガ、何レモ重要
ナ質疑デアリマシテ、之ヲ繼續スレバ幾ラ
デモ時間ヲ要スル譯デゴザイマスガ、審議
ノ都合上チウ何時マデモ一般ノ質疑ヲスル
ト云フ譯ニモ行カヌヤウニモ思ヒマスシ、
豫算總會其ノ他ニ於テモウ相當農政問題ニ
關スル各般ノ質疑ハ行ハレテ居ル實情ニモ
鑑ミマシテ、成ベクソレ等トモ重複シナイ
ヤウニ致シタイト存ジマス、ソコデ質疑ハ
昨日非公式ニモ申上ゲマシタ通り率直簡明
ニ要ヲ御盡シ願フコトニ致シタイト存ジマ
スガ、尙ホ出來ルダケ短イ時間ニ目的ヲ達シ
タイ方針ノ下ニ、三十分ヲ最高限度トシテ、
其ノ範圍内デ成ベク切詰メテ質疑ヲシテ戴
キタイ、斯ウ存ズル次第デゴザイマス、右
御含ミノ上質疑ヲ續行アラントコトヲ希望致
シマス——前川正一君

○前川委員 委員長ノ趣旨ヲ體シテ成ベク
重點的ニ要點ヲ申上ゲマシテ御答辯ヲ得タ
イト思ヒマス、大東亞審議會決定サレマ
シタ日滿ヲ通ジマシテ日本ノ人口四割ヲ農
業ニ於テ保有スル、此ノ必要性ハモウ申ス
マデモナイ所デアリマス、是ハ民族培養ニ

付テノ基地トシテノ農業ノ重要性農村ノ重
要性カラ考ヘルノデアリマシテ、之ニ對シ
マシテモ其ノ必要性ハモウ分ツテ居リマス
ルガ、併シ今マデノ農業人口ノ遞減ノ趨勢
ト、重要産業ハ勞力ノ流レテ行クコト等カ
ラ考ヘマシテ、而モ亦人口政策ノ上カラ昭
和三十五年ニハ一億ニ持ツテ行カウ、斯ウ
云フコトヲ考ヘマスルト、農村ニ於キマシ
テ四千万ノ人口ヲ保有スルト云フコトハ、
現在ハ三割九分何厘位シカ保有シテ居ナイ、
兼業ノ方面カラ見マシテモ四割何分ダラウ
ト思ヒマスガ、斯ウナリマスト假ニ一戸五
人ノ家族ト致シマシテ八百万石ノ農家ヲ擁
シナケレバナラス、若シクハモウト家族數
ヲ大キク見積リマシテ七百万石ノ農家ヲ日
滿ニ於テ維持スルト云フコトヲ考ヘテ見マ
スト、現在ノ農村戸數ハ五百五十万戸ヲ切
レテ居ルノデアリマシテ、其ノ上ニ持ツテ
來マシテ滿洲ハ百万石ヲ出スト云フコトハ
既定ノ計畫デアアル、斯ウナリマス、内地
ニ於テ五十万戸乃至百万戸ト云フ農家ガ減
ツテ來ルコトニナル、一體現在マデノ土地
開墾ノ趨勢等カラ睨合ハセマシテ、ドノ程
度ノ土地ガ一戸ノ農家ニ當ルデアラウカ、
是ガ一ツノ問題ニナルト思フノデアリマス、
農地開發營團ノ事業ガ十年間デアリマシタ
カ百万町歩ヲ豫定シテ居ル、是モ殖エテ參
リマセウ、其ノ他又個人ノ開墾モアルダラ
ウト思フ、又開墾ノ可能地ト云フモノモ可
ナリアリマス、特ニ高原地等ニハ相當アル
ノデアリマシテ、數百万町歩モ出テ來ルカ

モ知レマセヌガ、サウ云フコトニ對シテ勞力
等ノ問題モ考慮サレナケレバナラスト思ヒ
マス、私ノ今御尋ネ致シタイコトハ、一體
内地ニ於テ五百五十万戸足ラズノ農家ノ上
ニ於テ人口一億ノ四割保有ト云フコトヲ申
シマス、何戸位ノ農家ガ殖エテ來ルデア
ラウカ、又是ト睨合ハセテ滿洲ノ百万戸移
民ノ方針ヲ多少デモ變ヘル必要ガ出テ來ル
デハナカラウカ、ソレヲ變ヘズニ此ノ儘行
クノカドウカ、斯ウスル場合ニ於テ開墾ノ事
業ハ現在ヤツテ居ル程度ノ方針デ行クノカ、
ソレトモ小開墾等ヲ積極的ニヤラスノカド
ウカ、或ハ今度出來マス新シイ團體等ニ於
テ新シイ方法ヲ用ヒテヤラシテ見ルノカド
ウカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタイト思ヒ
マス、是ガ主ナル點デアリマス、而モソコ
ニ現ハレテ來ル農家ト云フモノハドノ程度
ノ經營面積ヲ持ツモノデアルカ、是ハ勿論
地方ニ依ツテモ違ツテ來ルト思ヒマスガ、
大體斯ウ言ツタ點ニ付キマシテノ政府ノ御
方針ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○井野國務大臣 農村人口四割定有ノ問題
ハ、人口政策トシマシテ既ニ政府トシテモ
其ノ方針ヲ決定致シタノデアリマスガ、其
ノ目標トシテ昭和三十五年ニ一億ノ人口ニ
ナル、ソレノ四割ヲ農村ニ保有スルト云フ
コトニナルノデアリマスカラ、今御話ノ通
リ四千万ノ人口ヲ農家ニ保有スル、而モソ
レハ日滿ヲ通ジテ保有スルノデアリマス、
又必要ガアレバ支那、南方方面ニモ考慮ヲ
加ヘテ差支ヘナイ譯デアリマス、然ラバ

レヲドウ保有スルカト云フ御尋ネデアリマ
スガ、現在ノ農村戸數ハ大體五百五十万戸
デアリマシテ、專業ガ三百八十万戸、兼業
ガ百七十万戸、是ガ現在ノ狀態デアリマス、
然ラバ現在ノ一戸當リノ人口ハドウナリマ
スカト言ヘバ、慥カ五・七位ニナルト思ヒ
マスガ、之ヲ人口増加ノ點カラ言ツテ、一
戸當リノ子供ノ數モ殖ヤシテ行キタイト云
フ目標ヲ持ツテ居リマシテ、一億ノ人口ニ
ナレバ或ハ一戸七人位ニシテ行キタイト云
フ考ヘデアリマス、併シ假ニ現在ノ狀態デ
アルトシテモ四千万ノ人口ヲ保有スルトス
レバ七百万戸、百万戸ハ昭和三十一年マデ
ニ滿洲ニ持ツテ参リタイト云フ考ヘヲ持ツ
テ居リマスカラ、三十一年カラ三十五年マ
デマダ四箇年ソコニ餘裕ガアル譯デアリマ
ス、其ノ餘裕ハ或ハ滿洲ニモ持ツテ参リマ
スシ、又支那或ハ南洋方面ニモ相當ノヤハ
リ農業移民ヲ致スト云フコトニナツテ、百
五十万戸ハ先ヅ滿洲、支那、南洋ト云フ方
面ニ考ヘラレルノデハナイカ、今ノ所内地
ニヤハリ五百五十万戸ノ農家ヲ保有シテ行
クト云フコトニナルノデハナイカト思フノ
デアリマス、サウナルト兼業農家ト云フモ
ノハ是ハドウシテモ農業ノ性質上殘ルト思
ヒマス、工場、鑛山ニモ相當ニヤハリ出稼
ニ行キツツ農業ヲスル者モアリマスカラ、
兼業農家ガ残り、專業農家ハ現在ノ儘トシ
テ三百八十万戸、是ガ現在ノ一戸當リ一町三
反九畝ニナツテ居リマス、今後開發見込面
積ハ百三十万町歩アリマス、現在農地開發
營團デ開發シテ居リマスノガ五十万町歩デ
アリマシテ、其ノ外ニ開發適地ヲ色々調査
シマシタノガ百三十万町歩、之ヲ專業農家
一戸ニ割當テテ見マスト平均二反乃至三反

ノ増加ニナル譯デアリマス、サウシマスト三
百八十万戸ノ專業農家ヲ内地ニ保有スルト
スレバ一戸當リ一町七、八反ニナリマス、
現在適正規模ノ農家ト云フモノモ地方ノ事
情、立地條件其ノ他ニ依ツテ色々違ヒマス
ガ、併シ平均一町七、八反ノ農家デアレバ、
ソレハ或ル程度ノ適正規模ノ農家デハナカ
ラウカ、サウスレバ農業經營ノ合理化ガ十
分ニ行ハレテ行クノデハナカラウカ、ソコ
ニ於テ農村人口四割保有モ可能デアアル、斯
ウ云フ見透シヲ今ノ所持ツテ居ルノデアリ
マス、併シ人口ノ問題ハ動キマスカラ是ハ
一ツノ目標デアリマシテ、斯ウ言ツタ目標
ノ下ニ今後モ指導シテ行キタイト考ヘテ居
リマス

○前川委員 支那及び滿洲方面ニ出スト云
フコトニハ私ハ危懼ヲ持ツノデアリマシテ、
特ニ民族培養ノ基地ヲ農村ニ求メルト云フ
コトニナリマス、私ハ支那及び南方ニ農
民ヲ送ルト云フコトニ對シテドウモ賛成シ
難イノデアリマス、ヤハリ吾々日本ノ國土
ノ中ニ於テ農業ヲ營ムコトニ依ツテ初メテ
民族トシテノ生彩ヲ放ツコトニナルト思フ
ノデアリマス、此ノ支那及び南方ニ出スト
云フノハ違ツタ意味ノモノデナケレバナラ
ヌ、是ハ食糧確保ノ點カラハ一應理論ハ
成立ツ、ソレカラ又人口ノ増強ノ上カラモ
理論ハ成立ツノデアリマスケレドモ、最モ
肝腎ナ民族ノ血ノ純潔保存ノ爲ニ農業ヲ守
ルト云フ點カラ見マスカラバ、南方及び支
那ニ五千万戸出スト云フコトハ、多少疑問
ヲ持タナケレバナラヌヤウナ感じガ私ハス
ルノデアリマスガ、是ハ私ノ一ツノ意見デ
アリマスカラ此ノ上申上ゲマセヌケレド
モ、尙ホ其ノ結果大體平均致シマシテ一町

七、八反ニナルト云フノハ、是ハ非常ニ期
待ノ出來ルコトデアリマス、コマデ行ケ
バ日本ノ農業ト云フモノハ維持シテ行ケル
ト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ一ツ考
ヘタイコトハ、今百三十万町歩ノ開發ノ豫定
ダト申サレマシタガ、ソレハ農地開發營團ガ
ヤリ、アトノ分ハ民間デアルト云フコトニナ
ルノデアリマスガ、此ノ開發ノ方ハ今マデ農
地開發營團ガ事業ヲ始めマスニ付テ、ハツキ
リ分ラナイガ、何處カノ新聞デ見マス、大
體計畫ノ四割程度シカ出來テ居ナイヤウ
ニ思フ、改良ノ方ハ相當順調ニ行ツテ居ル
ト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、此ノ
農地開發營團ノ開發ガ餘リ順調デナイト云
フ支障ハ何處ニアルドラウカ、之ヲ一ツ御
尋ネシタイ、ソレカラ私達ノ考ヘカラ致シ
マス、農地ノ價格ノ統制モアルシ、森林ノ
價格ノ統制モアルノデアリマスガ、山林ノ價
格統制ト云フモノガ十分出來テ居ナイデハ
ナイカ、其ノ附近ノ開發ヲシテ畑地ト山林ヲ
營團ガ買収シマス時ノ價格措置ト云フモノ
ガ、餘リ價格ニ於テ開キガナイヤウナ場合ガア
ル、ソコデ出來テ來タ畑ト云フモノハ相當高
ク付クト云フ點カラ、農地開發營團ノ仕事
ニ非常ニ期待シテ居リマシタ者ガ、割合ニ
農地ガ高ク付クノデアルト云フヤウナ不安
ヲ、今日其ノ地方ノ農民ガ持ツテ居ルト云フ
實情ガ非常ニアル譯デアリマス、是ハ政府ニ
於テ其ノ開發サレタ農地ガ幾ラダト云フ價
格ヲ早く決定發表スル、ソレハ見込デモ宜
シウゴザイマス、サウナルト入植者ハ其ノ
氣持デ開發ニ從事スルノデアリマス、出來
テシマハナケレバ價格ガ分ラナイ、ソレカ
ラ後ニ入植シタノデハ非常ニ遅イノデアリ
マスカラ、價格ノ算定ハ其ノ見込デモ宜イ

カラ、價格ノ算定ハ早キヤル、斯ウ云フ方
法デヤツテ戴クト、農地開發營團ノ仕事ハ
非常ニ進捗スルト私ハ思フ、此ノ營團ノ事
業ガ思フ程行ツテ居ナイト云フヤウニ私ハ
聞イテ居リマス、斯ウ云フコトカラ山林價
格ノ統制ヲ早キヤル必要ガアルノデハナイ
カ、サウシナケレバ困ルデヤナイカ、斯ウ
思フノデアリマス、ソレカラ今最後ニ申シ
マシタ農地開發營團デ開發致シマシタ價格
ヲモツト早く決定シテ、サウシテ其ノ地方
ノ農民ノ入植ヲ勧誘スル、斯ウ云フヤウナ
方法ヲ執ラレル必要ガアルノデハナイカ、
斯ウ思ヒマス、之ニ對シテ御意見ヲ伺ヒタ
イト思ヒマス

○井野國務大臣 先程四割人口定有ニ付キ
マシテ、日滿ヲ通ジテ經營スベキデアルト
云フ御意見、是ハ全く政府モサウ云フ意見
デアリマス、大體ノ基本ハ日滿ニ置カケ
レバナラヌ、支那、南洋ノ農民ハ、眞ノ大
和民族涵養ノ基地トシテノ農村ト云フ意味
ノ人口定有ト云フ意味カラハ、或ル程度違
ツタ意味ヲ持ツテ來ルト思フノデアリマス、
併シ先程申シタ五十万戸ヲ滿洲或ハ支那、
南洋ニモ持ツテ行クコトモ考ヘラレルト申
上ゲタノハ、滿洲ハ昭和三十一年デ終リマ
スカラ、ソレデアト四箇年ヲ、尙ホ滿洲ニ
モ或ハ現在考ヘテ居ルヤウナ一戸十町歩或
ハ二十町歩持ツト云フコトデナシニ、モツ
ト小規模ノ農業經營デモ行クヤウナ土地モ
アルト思ヒマスシ、百万戸以上ノ人口ヲ送
リ得ル餘地ガアルト思ヒマスカラ、サウ云
ツタ方面ニ主トシテ努力ヲ致シタイ、併シ
其ノ他ニ尙ホ支那ナリ南洋ニモ多少送ル餘
地モアルドラウト云フコトヲ豫想シテ申上
ゲタノデ、隨テ内地ニ殘ル者ガソナナモノ

デヤナカラウカト云フ事柄ノ見透シデ申シ
タノデアリマス、デアリマスカラ方針トシ
テハ今、前川君ノ御話ノ通りノ方針デ進
デ参リ積リデアリマス

ソレカラ農地開發營團ノ仕事ガ中々思フ
ヤウニ進マナイト云フコトハ、是ハマダ開
發營團モ出來タバカリデアリマスシ、又今
日色々資材ナリ努力ナリノ點ガ、當初豫想
シテ居リマシタヨリハ非常ニ窮屈ニナツテ
來テ居リマスカラ、サウ云ツタ關係デ豫定
通りニハ出來テ居リマセヌガ、今數字のニ
其ノ仕事ノ内容ヲ申上ゲマス、昭和十六
年度ニ開發營團トシテ農地造成事業トシテ
ノ豫定致シタ面積ガ開田ガ千五百町歩、開
田ガ五千町歩、合計六千五百町歩、實績ハ
開田ガ千十町歩、開田ガ四千二百五十町歩、
計五千二百二十五町歩、昭和十六年度ハ成
績ガ非常ニ良カツタノデアリマス、昭和十
七年度ハ豫定ガ開田ガ六千二百町歩、開田
ガ一万七千五百町歩、計二万三千七百町歩
デアリマス、是ハマダ實績ハハツキリ分ツ
テ居リマセヌガ、大體ノ見透シガ開田、開
畑合セテ一万三千町歩、是ハ昭和十八年ノ
春マデニ完了スル豫定デアリマス、詰リ是
等ヲ合セマス、大體四割以上ニハ無論行
ツテ居ルノデアリマスガ、實際ニ十七年度
ニ出來上ツタノハ四割位デハナイカト云フ
コトヲ此ノ豫算總會デ申上ゲタノデアリ
マス、ソレデスカラスツカリ出來上リマス
レバ五割以上ハ行クノデアリマス、ソレカ
ラ水利事業ノ方モ開發營團ノヤツテ居リマ
スノハ大キイモノダケデアリマスカラ、是
ハ大體豫定ノ五割以上ハ行ツテ居リマス、
細カイ數ヲ申上ゲル必要モナイト思ヒマス
ガ、隨テ開發營團ノ仕事ハ概括的ニ見レバ

順調ニ行ツテ居ルノデアリマスケレドモ、
今御話ノヤウナ點ガ確カニ開發致シマシタ
後ノ自作農創定ノ上ニ色々支障ニナツテ居
ルコトヲ私モ伺ツテ居リマス、山林ノ方ノ
價格統制ガナイ爲ニ、開墾シテカラ後ニ地
價ヲ決メルト云フコトカラ、自作農創定ノ
上ニ支障ガアルト云フコトモ承ツテ居リマ
ス、成ベク早くヤハリ初メニ値段ヲ決メテ
置イテ、凡ソノ見透シヲ以テ農家ヲソコニ
移住セシメテ行クト云フコトノ方ガ私モ宜
イト考ヘマシテ、最近サウ云フ方針デヤレ
ト云フコトヲ開發營團ニ申シテ居リマス、
サウ云フヤウナ方向ニ段々導イテ参リタイ
ト考ヘテ居リマス

○前川委員 此ノ開墾ノ可能地ト云フコト
ニ付テ今仰セラレマシタガ、其ノ後色々
資料ヲ見マス、高冷地、高原地ト云フモ
ノノ開墾ノ餘地ガ相當アルト云フコトヲ聞
イテ居リマス、サウ云フ方面マデモ努力ガ
許セバ——是ハ色々意味デ農村ノ努力ヲ
ト言ツテハ困ルノデアリマスガ、其ノ他色
色組織ガアリマスカラ、之ヲ有効ニ使ツテ
ヤレバ宜イト思ヒマス、私ハ斯ウ云ツタ開
墾ノ方ニ力ヲ入レテ、滿洲ニハ千七百町
歩ノ土地ガアリマスカラ、是ハ出セバ幾ラ
デモ行ケルト思ヒマスカラ、日本ノ國土内
ニ於テ日本ノ農村人口ヲ出來ル限リ保有ス
ル、ソレニ於テ民族ノ培養基地ニナルノダ
ト云フ論ヲ持ツテ居ル、出來ルダケ支那、
滿洲、其ノ他ニハ指導者ヲヤツテ、成ベク
内地ニ農民ヲ保有シタイ、斯ウ云フ考ヘ方
カラ開墾ヲ成ベク早く廣ケル、ソレニ依
ツテ農家ノ規模面積ヲ成ベク殖ヤシテ行ク
ト云フコトガ私ノ意見デアリマス、恐ラク
是ハ農林省モサウ云フ御意見デアラウト思

ヒマス、數字ヲ現ハスコトニ於テハ今ノヤ
ウナ御答辯ガ出來ルト思ヒマスガ、其ノ趣
旨ダケハ持ツテ居ラレルト思ヒマシテ、是
レ以上申上ゲマセヌ、尙ホ昨日來大分此ノ
點ガ明瞭ニナツタガ、皇國農民ノ姿ト云フ
モノガ臆氣デアリマスガ私ニハ分ツテ來タ
ノデアリマス、殊ニヤハリ自作農ト云フモ
ノガ皇國農民ノ中堅ト云フカ、筋金ニナ
ツテ居リマス、此ノ中核ニナツテ居ル皇國
農民ノ姿ニ於テ自作農、而モ零細農ヲ克服
シテ行ク、是ガ皇國農民ノ一ツノ大キナ點
デアルト思ヒマスガ、而モソレニ色々重
要ノ點ガ澤山アルト思ヒマス、農業經營ノ
姿ナンカモ大分違ツタモノモアルト思ヒマ
スガ、私ハソレヲ貫ク所ノ一ツノ方針トシ
テ、皇國農村ノ本當ノ指導精神ハ一體ドコ
ニアルノカ、此ノ點ガ一ツ大キナ問題ダト
思フ、色々價格論ガ出テ來タリ、最近議論
ガ澤山アリマスカラ、日本ノ一ツノ指導方針
ト云フモノダケハ鋭ク貫カケレバイカス、
皇國農村ヲ建設致ス場合ノ指導方針ハ一體
ドコニ置クカ、昨日ノ御話デ稍、分ツタ、經
濟更生ノ運動カラ進ンデ食糧ノ確保、民族
培養、斯ウ云フ點マデ來タノデアリマスガ、
私ハソレ以上ニモウ少シ突込シテ點カラハ
ツキリ農民ニ、又此ノ際一般ノ國民ニモ訴
ヘル所ノ皇國農村ノ一ツノ指導精神、斯ウ
云フモノガナケレバナラヌト思フ、ソレニ
付キマシテ大臣ノ御意見ヲ承ルコトガ出來
レバ仕合セダト思ヒマス

○井野國務大臣 皇國農村ノ指導精神ハ從
來色々觀點カラ申上ゲテ居ルノデアリ
マスガ、之ヲ要約致シマス、結局今ノ農
村ヲドウ持ツテ行カト云フ其ノ目的カラ
考ヘル點ガ一ツデアリマス、隨テ其ノ目的

カラ考ヘマス、農村ヲシテ食糧其ノ他重
要ナル農產物ノ生産場トシテ、又大和民族
涵養ノ基地トシテ、皇道ニ即シタル農村ヲ
建設スルト云フコトガ其ノ目的デアリマス、
而シテ其ノ出來上リマシタ農村ト云フモノ
ハ、結局ソコニ居住スル農民ガ打ツテ一丸
トナツテ、農民道ニ基クテ責任ヲ持ツテ
チマシテ、只今申上ゲマシタ目的ニ向ツテ
進ンデ行クト云フコトガ指導精神デアラネ
バナラヌト思フノデアリマス、即チ生産ニ
對シマシテモ一層責任ヲ持ツテ農民ガ之ニ
邁進シテ行ク、而モ農村トシテノ矜持ト光
明トヲ以テ是ガ仕事ニ從ツテ行クヤウニ、
色々諸施設ヲソコニ與ヘテ行クト云フコ
トガ、今度ハ政府ナリ或ハ指導方面ノ施設
ニナツテ現ハレテ來ル譯デアリマシテ、サ
ウ云ツタ三方面カラ之ヲ考ヘテ行ク必要ガ
アルノデハナカラウカト思ツテ居リマス

○前川委員 私ハ考ヘタノデアリマスガ、
日本ノ農業ニ從事シテ居ル者ガ本當ニ日本
精神ヲ培ヒ今日マデ育ツテ來タノハ何處ニ
理由ガアルカ、「ヨーロッパ」諸國ノ農業ト
違ツテ居ル點、日本農業ノ特質ト云フ點、
之ヲ皇國農村建設ノ場合ニ一應考ヘテ置カ
ナケレバイカヌト思フノデアリマス、何カ
ト申シマス、是ハ今更申サナクテモ分ツ
テ居ルノデアリマスガ、農業ノ原始的ナ形ハ
遊牧デアル、ソレカラ畑作ニ轉換スル、ソレカ
ラ最後ニ定着スルノハ水田耕作デアルト思
フ、日本ノ農業ノ樞軸ハ水田耕作デアルト思
フ、私ハ此ノ水田耕作ヲ大和民族ガヤツテ來
タト云フ所ニ、日本農業ノ特質ガアルト思フ、
是ハ天孫降臨以來稻作リト云フモノハハツ
キリシテ居ルノデアリマシテ、歷代ノ御皇室
モ其ノ御方針デアツタ、又近ク参リマシテ、

祈年祭ノ祝詞ノ中ニモ、如何ニ水田ヲ耕作スルカト云フ姿ガハツキリト謳ハレテ居ル、吾等ノ先祖ハヤハリ水田ニ重點ヲ置イテ來タト思フ、此ノコトハ私ハ非常ニ重要ナ關聯ヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、ソレハナゼ水田耕作民族ガ日本ニ於テ特ニ光ヲ放ツテ來タカト云フ一番大キナ點ハ、水田ヲ耕作シテ居ル者ハ土地ニ定着性ヲ持ツテ居ル、牧畜ヤ畑作ハ、肥料ガ切レ、草ガ切レルト轉々ト動イテ行ク、土地ト農民トガ遊離スル、併シ水田耕作民族ハ、水ノ媒介體ニ依ツテ土地ト農民トガ完全ニ密着シ定着シテ居ル、而モ縱ニ家族的ニ定着スルノミナラズ、横ノ連絡ニ於テ部落ノ結集ガ出來ル、昨日モ誰カ申サレマシタヤウニ、氏神ヲ中心トシテ横ノ集結ガ出來ル、縱ニモ先祖傳來ノ魂ガ土地ニ泌ミ付イテ居ル、斯ウ云フ縦ト横ノガツチリシタ土地ト農民トノクツ付キト云フモノガ、私ハ日本農業ノ特質ノ最モ大ナル點デアルト思フ、此ノ土地ヲ愛スル心、土地ニ愛着ヲ感ズル精神、部落ヲ愛スル愛郷ノ精神、ソレガ總テハ愛國ノ精神ノ基調ニナルノダト思フ、ココニ日本農業ノ特質ヲ發見シテ行キタイト思フ、而モ水田耕作ト云フモノハ、畑作ニ比較致シマシテ、自然ノ支配ヲ受ケルコトガ非常ニ多イノデアリマシテ、自然ト農民ハ人力ノ限リヲ盡シタ後ハ神ニ縋ル、日本ノ農民程神ト密接ナ關聯ヲ持ツテ居ル者ハナイノデアリマス、一ツノ水口ニモ直グ御幣ヲ立テテ祀ラナケレバ氣ガ濟マナイ、少シ豐作ニナレバ神ニ祈ラナケレバ氣ガ濟マナイデ感謝ノ祭事ヲスルト云フ、此ノ日本ノ農民ノ一ツノ特質、所謂敬神ト云ヒマセウカ、崇祖ト云ヒマセウカ、サウ云ツタモノガ生

レテ來テ居ルト思フ、而モ土地ノ中ニハ先祖以來ノ魂ガ泌ミ込メ居ルガ故ニ、家族全體ガ土地ヲ護ラウトシテ居ル、ソコニ家族勞働ト云フ日本ノ農業形態ガアル、勞力ガ不足シテモ、賃金勞働デ考ヘマスト迎モ出來ルモノデナイモノヲ、今日マデ頑張り得テ居ルト云フコトハ、一ツノ日本ノ農村ニ於ケル家族主義ノ美點ダト思フ、私ハ此ノ家族主義ト土地ヲ中心トシテノ愛國ノ精神、祖國愛、國土愛ノ精神、ソレカラ敬神崇祖、此ノ三ツガ日本ノ農業ノ特質デナケレバナラヌト思フ、是ガアツテコソ日本ノ農民ノ一ツノ精神ガ完全ナル皇道農民精神トシテ生キテ行キ、是ガ歷代ズツト續イテ參リマシテ、今日ノ戰勝ノ上ニ於テモ、食糧戰ニ必勝ヲ期シテ戰ヒ抜イテ來テ居ルト思フ、私ハ斯ウ云フコトヲ考ヘマス時ニ於テ、日本皇國農村建設ノ指導精神ハ、水田耕作ヲ主體トシテ來タ日本農業ノ傳統的精神ヲ何處マデモ保持シテ行ク、斯ウ云フ一ツノ大キナル指導精神ガ打立テラレナケレバナラヌノデハナイカト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ申シマス、今折角農林省ニ於ケレマシテ雜穀デアルトカ、薩摩芋トカ、馬鈴薯等ノ増産ヲヤラレルト云フコトト何カ相剋スルヤウニ考ヘラレマスガ、ソレハ今日ノ緊急ナル場合ニ於ケル處置デアツテ、中心ハ何處マデモ水田デアリ、米デアルト云フ所ニ置カレテ行クノガ本當デナカラウカ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、サウ云フ意味カラ皇國農村ノ指導精神ヲ打立テラレルノガ一番正シイノダト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シマシテノ大臣ノ御所見ヲ承リタイト思フ。

○井野國務大臣 只今御述ベニナリマシタ御意見ニ私モ全く同感デアリマス、皇國農村指導精神トシテ皇道ニ則ルト申上ダマシタノハ、皇祖皇宗カラ傳ハツテ來テ居リマス所ノ日本ノ根本ノ農民道ト云フモノハ、今御述ベニナリマシタ點ニ即シテ居ルノデアリマス、即チ水田中心デアリ、而モ家族主義デアリ、又土ニ親シミ、土ヲ愛スル、此ノ三ツノ點ガ日本農民道ノ眞髓デアルコトハ御説ノ通りデアルト思ヒマス、農業經營ノ見地カラ或ハ畑作ノ獎勵モ致シテ居リマス、併シソレハ其ノ基本ノ觀念ヲ變ヘル意味デハナイノデアリマシテ、ヤハリ水田中心ノ指導精神デ行クコトガ適切デアルト私モ信ジテ居リマス。

○前川委員 皇國農村建設ノ指導方針ニ對シマシテノ大臣ノ御意見ハ分ツタノデアリマスガ、サウナリマスルト茲ニ問題ニナルコトハ、土地ト農民ト緊密ニ結付ケルト云フコトガ前提ニナル譯デアリマス、所ガ土地ト農民トガ緊密ニ結付キ得テ居ナイト云フ一ツノ事實ガアルノデアリマス、是ハ色色長イ間論議サレテ來タシ、日本ノ農村ニ於ケル非常ナ大キナ問題デアツタト思フノデアリマスガ、ソレガ漸次結論ニ達シマシテ、農林省ニ於ケレマシテハ、自作農創設維持ニ依ツテ農民ト土地トノ結付キヲヤツテ行カウ、斯ウ云フ御方針デアル、是ハ非常ニ結構ナノデアリマスガ、過去ノ自作農創設ノ行キ方ハドウデアツタカト云フコトハ、是ハ論議致サナクテモ分ツテ居ル譯デアリマス、ソレニ依ツテカ、十八年度カラ四十二年度マデノ間ノ二十五箇年間ニ於テ、百五十万町歩ノ小作地ヲ自作地ニシテ行カウ、斯ウ云フ方針ガアルト云フコトヲ聞イテ居ル、ソレカラ農地開發營團等ニ依ツテ

出來得マシタ開墾ノ耕地五十万町歩ガ三十九年マデニ出來ルト云フ、之ニ依リマス、二百七十八万町歩ノ小作地ノ中ノ約半分ガ大體自作地ニナツテ來ルノデアリマシテ、是ハ一ツノ大キナル革新的ナ農地政策ニ對スル政府ノ御方針ダト思フノデアリマス、是ハ昔ニ比レバ非常ニ結構ナコトナノデアリマスガ、本質カラ見マシテ、アトニ殘サレテ居リマス小作地百三十万町歩ヲ一體ドウシテ行クノカ、ソレノ自作ハドウ考ヘルノカ、是ハ第二段トシテ考ヘルノカドウカ、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ其ノ他開墾ガ百三十万町歩出來ルトスレバ、百八十万町歩出來テ來ル譯デゴザイマス、ソレトノ自作ノ問題ハドウ云フコトニナルカ、此ノ大キナ自作農創設ノ方針デアリマスガ更ニ其ノ上ニ斯ウ云フ殘サレタル問題ガアル、之ニ付テ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、御伺ヒ致シマス。

○井野國務大臣 自作農創定ガ土地ト農民トヲ結付ケル大キナ施設ト私モ考ヘテ居リマス、隨テ今回自作農創定ニ付キマシテ、一ツノ大キナ計畫ヲ立テタノデアリマスガ今御指摘ノヤウニ、然ラバアト殘ツタ小作地ハドウスルカト云フ御話デアリマスガ、昨日モ色々御質問モアリマシタ通り、今日農村ニヤハリ私ハ或ル程度ノ地主ト云フモノハ殘シテ行クコトノ方ガ宜イノヂヤナイカ、全部ノ小作地ヲ自作農地ニ致サナイデ、ヤハリ地主モ其ノ村ニアツテ、多少ノ小作ヲセシメテ行クト云フコトガ適切デハナイカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ小作兼自作ト云フモノノ成立ヲ或ル程度入レテ行フ必要ガアルヤウニ考ヘテ居リマスノデ、爾餘ノ小作地ト云フモノハ、サウ云ツタ

結付キヲ考ヘテ行ケバ、其ノ位ノモノハ
殘シテモ宜イノデハナカラウカ、又無理ニ
シヨウトシテモ中々サウ強制シナイ限りハ
困難デアリマスカラ、一應ノ目標ハヤハリ百
五十万町歩ニ置イテオイト、更ニ情勢ニ依
ツテソレ以上出來ル可能性ガアリマシレバ、
是ハモツト進メル積リデアリマス、何モソ
コデ打切ルト云フノデアリマセヌ、併シ
殘サレタ部分モサウ云ツタ考ヘニ於テ、居
村ノ地主ニ多少ハ小作セシメルト云フコト
ハ、ヤハリ皇國農村ヲ作ツテ行ク上ニ適切
デハナイカ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス
○前川委員 地主ノ農村ニ存在スルコトハ
結構ナノデアリマシテ、所謂新地主運動ト
云フモノヲ農林省ガ考ヘテ居ルコトハ、非
常ニ結構ナ譯デアリマス、併シ私ハ土地
農民トノ間ニ隙ノアカナイヤウナ地主ノ存
在デアツテ貴ヒタイ、之ニ對シマシテ色々
ナ施設ガアルノデアリマシテ、是ハヤラ
レルコトヲ期待シテ居リマス、更ニ今年カ
ラヤラレマス計畫ノ中デ、十八年度ニ於テ
小作地三万町歩ヲラレ、開墾地二万町歩ノ
豫定デアル、其他ノ一億七千万圓御出シニ
ナルト云フノデアリマスカ

○井野國務大臣 大體サウダト思ヒマス、
本年ノ豫算デゴザイマセウ、サウデゴザイ
マス

○前川委員 サウナリマス、昭和十六年度
マデノ過去五箇年ヲ見マスルト、大體二億
圓限度ノ金ハ自作農創設ノ爲ニ出シテ宜イ
コトニナツテ居ツタ、所ガ其ノ中デ消化致
シマシタ金ト云ヒマセウカ、其ノ金ガ八千
七百七十萬圓ト聞イテ居ル、二分ノ一ニ足
リナイ金シカ消化シテ居ラナイ、此ノコト
ハ大キナ問題ダト思ヒマス、政府ハ金ヲ出

シテヤルト言ウノミデ、小作人ガ金ヲ借り
テ自作農ニナラウトシナイ、ナラウトシナ
イノデヤナイ、ナリ得ナイノカ、茲ニ問題ガ
アル、今年一年間デ以テ、過去十箇年トハ
言ヒマセヌガ、過去五箇年ノ二倍デスカラ
約十倍ニ行ツテ居ルノデアリマスガ、ソレ程
ノ多クノ金ヲ出シテ、ソレヲ一舉ニ自作農ニ
シテ行クト云フノニハ、可ナリ思ヒ切ツタ援
護施設ト云ヒマセウカ、大臣昨日大イニ進メ
テヤルト云フコトデアリマシタガ、サウ云フ
施設ヲ十分ニヤラナケレバ、一寸困難ナノデ
ヤナイカト云フ懸念ガナイノデアリマシタ
アリマス、勿論金ノ出シ方ハ縣債ナリ、或
ハ町村債ヲヤラナイデ、直接勸銀、若シハ
今度出來マスル中央農林金庫ト云フノデス
カ、サウ云フモノカラ御出シニナルノデ、
手續キハ非常ニ簡易ニナリマセウ、ダカラ
町村長アタリガ反對スルコトハ段々ナクナ
ツテ便利ニナルデアラウガ、手續ヲ簡易化
スルト云フ程度デ以テ、過去七八年間ノ金
ヲ一度ニ一年間デ一體消化スルダラウカ、
ソレ以外ニ何カ色々ノ方法デモ御考ヘニナ
ツテ居ルダラウカ、是ダケデハドウモ不十
分デハナイカト云フ懸念ガアルノデアリマ
ス、何カ他ニ方法ガアレバ御尋ネ致シタイ
○井野國務大臣 過去ノ自作農創設ノ要求
ハ相當ニ出デ參ツテ居ルノデアリマスガ、
實際ニヤリマス場合ニ、ヤハリ市町村債ヲ起
シタリ縣債ヲ起スト云フ爲ニ抑ヘラレテ居
ル事例ガ非常ニ多イノデアリマス、農林省
トシマシテモ、出來ルダケ自作農創設ヲシ
タイト思ツテ、色々其ノ方面ノ努力ヲ致シ
マスルケレドモ、中々今日ノ縣財政、市ノ
財政、町村ノ財政カラ見テ實行出來ナイ爲
ニ、支障ノ起ツテ居ル事例ガ非常ニ多イノデ

アリマス、其ノ支障タルヤ、決シテ單ナル
手續キノ支障デハアリマセヌ、自作農創設
自體ノ大キナ目的ガ大半ソレニ依ツテ阻碍
サレテ居ル事例ヲ知ツテ居ルノデアリマ
ス、其ノ爲ニサウ云フ點ヲ今回大イニ改善
シヨウト思ツテ、各地方ノ自作農創設ノ要
望ト云フモノハ、今日農林省ガ此ノ一年ニ
於テ計畫致シマシタ數以上ノモノガアルノ
デアリマス、是ハ一億或ハ二億ヲ突破シテ
居ル狀態デアアルノデアリマス、ソコデ預金
部ノ金ヲ手ツ取り早ク出ス、一年ニ一遍ニ
出スト云フコトデアリマス、折角ノ時機
ヲ失シテ、自作農ヲ創設シタイガ借リラレ
ナイ事例ガアリマスカラ、何時デモ欲スル
所ニ之ヲ出シテヤル、而モ預金部ノ資金ハ低
利デアリマスシ、ソレニ對シテノ利子補給
モ豫算ニハ見積ツテ居ルノデアリマスカラ、
金ヲ出シ得ル態勢ヲ取りマシレバ、過去六
七年ノ倍デアリマシテモ消化シ得ル、併シ
ソレダケデハ無論十分ノコトハ出來ナイト
思ヒマス、隨テ今回ノ豫算ガ成立致シマシ
タナラバ、農林省トシマシテモ此ノ問題ノ
爲ニ色々ノ方策ヲ講ジテ參リタイ、例ヘバ
昨日申上デマシタヤウニ、皇國農村自體ニ
付キマシテハ、其ノ農村ノ計畫ヲ致ス村ノ
地主ニ對シテ積極的ニ色々ノ相談モ致シテ
參リマスシ、又一般的ノ自作農創設ニ對シ
マシテハ、不在地主ハ勿論、居村ノ地主ニ
於キマシテモ是ガ協力方ニ付テ大イニ農林
省トシテ積極的ニ出デ居ル、斯ウ考ヘテ居
リマス、今日地主各位ノ色々ノ御意見ヲ伺
ヒマス、政府ガ一ツノ方針ヲハツキリ決
メテ是デ行クノダト云ツテ貴ヘバ、自分等
ハ土地ヲ自作農創設ニ出スコトハ待チ構ヘ
テ居ル、價格ノ問題等モ色々アルガ、ソレ

等ノ點ニ付テハ色々心配シテ貴ヘバ、ソレ
ニ依ツテ自分等ハ出ス積リデアルト云フ希
望ガ相當今日起ツテ居リマス、大體此ノ計
畫ト云フモノハ農林省ガ一生懸命ニナルバ
達成シ得ルモノデアハナカラウカ、斯ウ考ヘ
テ居ル譯デアリマス

○前川委員 今ノ大臣ノ御答辯ニ付キマシ
テ非常ニ安心シタノデアリマスガ、ソレ程
可能性ガアルナラバ、序デニ一ツ——ト云
ツテモ勿論豫算ニ關係ガアルノデアリマス
ガ、一番大事ナ問題ハ土地ト農民トヲクツ
付ケルコトデアアルカラ、モウ少シ大規模ニ
ヤツトラドウカ、自作農創設ト云フノハ一
遍ニ一年ヤ二年位デハヤレナイケレドモ、
二十年位モ掛ツテヤツテ行ケバ——今マデ
ノ種々ナ條件ヲ改善シナケレバ又没落スル
者ガ出テ來ルノデアルマスカラ、是ハ結局
「シューゲーム」ノヤウナ形ニナラザルヲ得
ナイヤウナコトガアルノデアリマスガ、サ
ウ云フコトヲ考慮ニ入レタラ創設スル方ハ
思切ツテモツタル、斯ウ云フコトヲ一ツ
ヤラレルカ、サウデナケレバ一度自作農ニ
ナツタガ最後、自作農カラ離レナイ、土地
ヲ離サナイ、離サナクテモヤツテ行ケルト
ト云フ施設ヲ考ヘルカ、ドツチカシナケレ
バ非常ニ努力ヲ拂ツテ金ヲ使ヒ、自作農ニ
ナツテモ、ソレガ又元ニ落ツコト來レバ、
何ヲヤツテ居ルカ分ラナイコトニナツテ來
ルト思フ、是非非常ニ效果ノアルコトデア
ルト思フガ、全體的ニ考ヘテ見ルナラバ、
私ハ無駄ガ多イヤウナ感じモセヌデナハイ、
過去永イ間ヤリマシテ多クノ金ヲ使ツテヤ
ツテ僅カシカ殖エテ居ラヌト云フコトヲ考
ヘマス、私ハヤハリ落チルコトヲ覺悟シ
テヤルナラバ思切ツテ一度ニ多クヤルサウ

デナケレバ一度ヤツタナラバアトハ落チナイヤウニスルカ、斯ウ云フ風ニドツチカラ一ツ考ヘテヤラナケレバ、自作農創設維持ト云フ問題ハ非常ニ重大ナ問題ニナルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレニ付テ一ツ具體的ノ問題ニナルコトハ、昨日モ議論ニナツテ居リマシタ農地價格ノ問題デアリマス、是ハ自作農ヲ創設スル場合ノ大キナ問題デアルト思フノデアリマス、實際ニ土地ノ價格ト云フモノハ事變前ニ比ベテ五六割ハ上ツテ居ル、是ハ抑ヘラレテハ居リマスガ、實際ニハ上ツテ居ル、土地ノ閣取引ハ全然ナイトハ云ヘナイ、農民ノ土地ヲ欲スル要求カラ閣取引ハナイコトハナイ、サウ云フコトカラスルト實際ノ取引ハ相當高イモノニナツテ來テ居ル、自作農創設ノ標準價格ノ算式ニ依リマス、私ハ實際ニ農地價格ト云フモノト、政府ガ金ヲ出ス價格ノ出シ方ト云フモノトノ開キト云フモノハ非常ニ大キイト思フ、實收小作料カラ公租公課ヲ引イタモノニ〇・〇六ヲ掛ケルトカ制ルトカ云フコトカラ行キマス、大體ニ於テ豫算カラ見マス、四百圓限度ニ見テ居ルラシイ、畑ヲ二百幾圓ト見テ居ルラシイ、今日全國ソナ安イ所ハアリマセヌ、四百圓ト云フヤウナ畑ハナイ、實際ハ相當高イモノニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ實際ノ農地價格ト政府ガ金ヲ御出シナル價格トノ間ノ開キト云フモノハ、折角自作農ニナツタモノヲ没落セシメル最モ大キナ原因ニナル、アトノ不足ナ金額ヲ借りナケレバナリマセヌ、ソレニハ利子ノ補償モナイノデアリマシテ、高イ利息ノ金ヲ借りテヤルモノデスカラ、政府ノ方ニモ元利償還ヲシナケレバナラナイ、又一方ノ不足

ノ金額ニ對シテモ返サナケレバナラス、而モ其ノ利子ハ非常ニ高率ダ、斯ウ云フ所ニ折角ナツタ自作農ノ没落シテ來ル大キナ原因ガアルノデアリマス、若シ之ヲ一ツ防イデモ自作農ノ創設ハ非常ニヤサシイト思フ、金ヲ御出シナルナラバ、實際ノ農地ノ買收價格ト同ジダケノ金ヲ全額出シテヤツタラドウカ、而モソレガ低利デアリマスルナラバ、非常ニ自作農創設ハヤリ易イコトニナルト思ヒマス、是ハ自作農ヲ維持致シマスル一ツノ具體的ノ方法デアリマスガ、前ニ申シタコトト今申上ゲタコトトニ對シテ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○井野國務大臣 前川君ノ御述ベノ通り、思ヒ切ツテヤルナラ此ノ際モツト大仕掛ニ自作農創設ヲヤツタラ宜イデハナイカ、是ハ出來マスレバ無論結構ナコトデアリマスケレドモ、今マデノ實績カラ急激ニ——今同ノ施設デスラ十倍以上ノ施設ヲ一年ニ付テハスルノデアリマスカラ、此ノ程度ノ創設ハ從來カラ比レバ吾々ハ相當ニ大仕掛ダト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ先ツ本年ハ是デヤツテ見ル、サウシテ其ノ氣勢ニ依リマシテ更ニモツト擴充シ得ル見透シガ付キマスレバ、ソレハモウ何モ二十五年ニ限ツタコトハナイノデアリマスカラ、出來ルダケ早く是ガ達成ニ努力致スコトハ勿論デアリマス、其ノ方法トシテ農地價格ノ問題ガ極メテ重大デアリマスコトモ能ク了承致シテ居リマス、只今御述ベノ自作農ノ買入標準ハ、從來ノ自由主義經濟時代ノ米價ヲ本トシテ出來テ居ルノデアリマシテ、是ハ私ハ或ル程度直サナケレバナラナイノデハナイカト思ツテ居リマス、今日ノ農地價格ハ既ニ價格統制令ニ依ツテ一種ノ公定價格

ニナツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ價格デ以テ買フ場合ニハ、其ノ全額ニ付テ考ヘテヤルト云フ行キ方ヲ執ルベキダト私ハ思ツテ居リマス、隨テ標準價格ノ改訂ニ付テハ今後善處致シタイト考ヘテ居リマス

○前川委員 非常ニ満足致シタノデアリマス、其ノ全額ニ付テ御考慮ヘマスルコトハ非常ニ有難ク思ヒマス、ソレカラ今ノ標準價格ノ出シ方ニ付テモ一ツ御考ヘヲ願ヒタイ、是非ハヤツテ戴キタイト思フノデアリマス、是ハ自作農ヲ維持致シマスル非常ニ大キナ根幹ニナルト思フノデアリマス、更ニモウ一ツ自作農ヲヤツテ行ク手段トシテ、今マデ二十四五年間デ元利償還ヲシテ居ツタノヲ、モウ少シ年數ヲ長クシタラドウカ、其ノ地方ニ於ケル最低小作料以下ノ程度ノ金ヲ毎年拂ツテ行ケバ、元利ガ償還シテ行ケルト云フ程度ノ金額ニスル、サウナリマス、四十一年ニナルカ五十年ニナルカ分リマセヌガ、其ノ期間ニ於テ多少ノ不作ガアツテモ、是ダケノ金ナラバ拂ツテ行ケル、斯ウ云フヤウナ行キ方ヲ一ツヤツ戴キマス、私ハ確カニ容易ニ出來ルト思フ、所ガ親父一代デ拂ヘナケレバ息子ノ負擔ニナルデハナイカト云フ考ヘガアリマスガ、私ハソレハ宜イト思フ、日本ノ家族主義カラ考ヘルト、親父ノ借金シタモノヲ息子ガ拂ツテ行クノハ當然デアリマスカラ、サウ云フヤウニ償還期間ヲモウ少シ延長スルコトニ付テモ御考慮ヒタイト思フノデアリマスガ、之ニ付テ御意見ヲ承リマス

○井野國務大臣 現在ノ償還期間ト云フモノハ、大體現在小作人ガ拂ツテ居リマスル小作料ヲ拂ツテ、サウシテ其ノ年限ニ自分ノ土地ニナルト云フ建前デ出來テ居リマス、

隨テ今日ノ公定價格タル地價カラ換算シマシテ、其ノ年限ニ不合理ガアレバ是ハ又直シテ行ツテ宜イト思フ、結局考ヘ方ハ毎年ノ小作料ヲ拂フコトニ依ツテ、或ル年限ニ於テ自分ノモノニナルト云フ根本方針ニ即シテ總テノ基準ヲ考ヘテ行キタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○前川委員 最近ノ事例ヲ見マス、適正小作料ノ制定ガ各地ニ於テ出來テ居ラシイ、之ヲ見マス、大體小作料ガ從來ヨリモ一割二三分安クナツテ居ルト考ヘル、斯ウ云フ所カラ考ヘテ見テモ、償還期間ノ延長ト云フコトガ問題ニナリ得ルト思フノデアリマス、ソレデ是非此ノ償還期間ヲ少シ長クスルヤウニシテ戴キタイノデアリマス、モウ一ツハ、是ハ毎年申上ゲテ恐縮デアリマスガ、私ハ是非ヤツテ戴キタイト思フコトハ、日本ノ家族制度カラ見テ長子相續ガ特徴デアリマシテ、之ヲ活カス意味ニ於テ農地ハ必ズ世襲シテ行ク、家産ニシテシマフ、是ハ實際ニ於テサウナツテ居ルト思フノデアリマス、色々ナ借金ヤナシノ條件デ中々サウデナクナツテ居リマスガ、精神ハサウナツテ居ル譯デアリマス、ソレヲ私ハ是非運用ノ上ニ於テデモヤツテ戴キタイト思フ、是ハ本當ノコトヲ言ヘバ法規デアラナケレバナラスノデアリマスガ、サウ云ツタ家産制ニシ、而モソレヲ世襲ニシテヤツテ行クト云フ法規ヲ制定スル前ニ一ツ御考ヘヲ願ヒタイコトハ、吾々ハ新聞ヲ見マシテ農地金庫法案ガ今議會ニ出ルト云フノデ非常ニ期待シテ居ツタ、是ハ自作農ニ低利資金ヲ貸スト云フ意味バカリデナク、其ノ土地ヲドウシテモ其ノ儘持切レヌ場合ハ、農地金庫ニ擔ギ込メバドウナリ斯ウナリヤツ

テ行ケル、サウシテ米ハ供出デアリマスカラ其ノ中デ差引イテ貰ヘバ宜イ、サウシテ土地ハ外ニ流レズニ、政府ノ息ノ掛ツタ農地金庫ニ於テ融通ヲシテ貰ヘテ又元ヘ返シテ行クコトガ出來ルト云フヤウナ、一ツノ救済機關ノ意味ヲ持ツタ農地金庫ガ出來ルト云フノデスカラ、是ハ相當期待シテ居ツタノデアリマス、私ハ是ガナゼ出ナクナツタカト云フコトヲ聽キタイノデアリマスカ、サウ云ツタ農地金庫ト云フヤウナ制度ヲ御ヤリニナルコトト併セテ、家産制、世襲ニナツテ行クコトヲ運用ノ上デヤツテ戴キタイ、ソレガ相當行ツタ段階ノ上ニ於テ所謂世襲、家産ト云フモノヲハツキリ御決メニナルコトガ出來レバ、私ハ自作農ハ完全ニ出來ルト思フ、ソコデ農民ト土地ト云フモノガ完全ニ結付クコトガ出來ルノデハナイカト思フノデス、私ハナゼ農地金庫法案ガ出ナイカト云フコトハ強クハ申シマセヌガ、實ハ期待外レデ非常ニ残念デス、今申上デマシタ二點ニ付テ御意見ヲ承リマス

○井野國務大臣 農地ノ農民トノ結付キノ爲ノ農地ノ世襲財產法ト云フ問題ニ付キマシテハ、前議會來色々御議論ガアリマシタ、滿洲デモサウ云ツタ制度ヲ或ル程度採ツテ居リマスガ、農林省トシテモ色々研究シテ居リマスガ、結局農地ノ融通性ノ上ニ於テ却ツテ色々支障ガ起ルノデ、サウ云ツタ法制ヲ立テルニ躊躇ヲ致シテ居ルノデアリマス、今回ノ色々ノ自作農創定ニ對スル施設ト致シマシテ、ナゼ農地金庫法ヲ以テ之ニ當テナカツタカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ法制化シナクテモ現在ノ産業組合中央金庫ナリ、勸業銀行ト云フモノヲ一種ノ農地金庫ト云フ風ナ性質ニ其ノ仕事ヲ變ヘテ參リマスレバ、法制ヲ俟タナクテモソレト同ジヤウニ行クノデハナカラウカ、新タナル金融機關ヲコニ作ルト云フコトハ、現在アリマス金融機關ガ動カナケレバ別デアリマスガ、是ガ動ク以上ハ現在ノ金融機關ヲ以テ之ニ代ヘテ行ク方ガ國家ノ制度ノ上ニ於テ適切デアル、先ヅ之ニヤラシテ見テ、ドウシテモ出來ナケレバ又農地金庫ヲ考ヘテ見ヨウト云フ氣持カラ、今回自作農創設ニ付テハ金融機關ヲ使フト云フ方針ニ變ヘマシタ點ニ於テ、從來ト大イニ行キ方ヲ變ヘタノデアリマス、隨テ産業組合ナリ、産業組合中央金庫ナリ、勸業銀行ニ只今御説ノヤウナ機能ヲ相當持タシテヤル、サウシテ農民ガドウシテモ其ノ土地ニ於テ金融上必要ナ場合ニ、外ニ其ノ農地ガ移ラヌヤウニ、出來ルダケサウ云ツタ金融機關ヲ面倒ヲ見テ行クト云フヤウナ指導ニ依リマシテ、大體目的ヲ達セラレルト考ヘテ居ルノデ、農地金庫法案ヲ出サナカツタノデアリマス

○前川委員 農地問題ニ付キマシテ大臣ハ非常ニ現實ニ即シテ、而モ今ヨリ躍進的ニ前進致シマシタ案ヲ御考ヘニナツテ居ルコトニ對シテハ敬意ヲ表スルノデアリマスガ、當面ノ急務デアリマスル増産ノ必要、之ヲ充タシマスルノニハ、増産ト云フモノハ非常ニ緊急ニヤラナケレバナナイ問題ナノデアリマスカラ、私ハ自作農ト云フモノガ出來ルコトニ依ツテ日本ノ農業ノ増産ト云フモノハ非常ニ力ヲ持ツテ來ルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ極メテ小サナ例デゴザイマスルガ、前石黒農林大臣ガ共ニ來ラレマシテ、一緒ニ見テ貰ツタノデアリマスガ、香川縣ノ栗熊分村ノ例デアリマス、ソコデハ六反五畝ノ小作地ヲ五人デ以テ經營シテ居ツタ、所ガ分村致シマシタ爲ニ一町一反ノ小作地ニナツタ、而モ其ノ中ノ一人ガ義勇軍ニ出テ四人ニナツタ、一人勞力ガ減ツタ、而モ土地ガ倍ニナツタ、ソレガ爲ニ翌年カラ粗放農業ニナツタ、收穫ガ減ルト思ツテ居ツタラ、逆ニ反當リ一俵以上ノ増收ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ彼等ガ日傭取りヲシナイ、出稼ギヲシナイ、所謂賃銀勞働者デナク專業農家ニナツタト云フ點ガ非常ニ大キナ點デアルト思フ、而モ彼等ガ有畜農家トシテ變ツテ來タ、斯ウ云フ點デ反當リ一俵ノ增收ガ出來タ、是ハ全國ニ適用出來ルトハ申シマセヌケレドモ、私ハ斯ウ云フ農家コソ最モ逞マシイ農家ダト思フ、大地ニシツカリ足ヲ踏ミツケテ搖ギナイ、斯ウ云フ農家ガ出來テ來ルコトガ本當ノ皇國農村ノ見本ダト思フ、而モサウ云フヤウナ基礎ノ上ニ立ツテ、初メテ完全ナル長期戰體制下ニ於ケル増産ガ出來得ルト思フ、部分的ナヤリ方デナクシテ本當ニ基本的ナ増産ノ根本方針ヲ樹テルノニハ、農民ト土地トノ密着ト云フコトニ今後重點ヲ置カレマシテ、先程申上デマシタ色々ノコトニ對シマシテ大臣ノ善處ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ昨日土地ノ交換分合ノ問題ガゴザイマシタガ、之ニハ觸レマセヌガ、非常ニ成功シテ居ルト云フコトダケ承ルノデアリマスガ、是ハ何處デモ宜イノデアリマスガ、土地ノ交換分合ヲドノ程度ニヤツタ爲ニドノ程度ニ能率ヲ擧ゲテ居ルカ、例ヘバ勞力ノ點ニ於テ、又色々ノ收穫等ノ點モアルト思フノデアリマスルガ、ソレ等ノ一ツノ事例ガアリマシタラ、小サイノデ結構デアリマスカラ、ドノ割合ニ良クナルカト云フ一ツノ見本ヲ御示シ願ヒタ

イ入デアリマス、ソレガ若シ見本通りニ行クモノナラバ、是非トモ之ヲ法制化シテヤツテ戴キタイト思フノデアリマシテ、例ガゴザイマスレバ御示シテ願ヒタイ、尙ホ斯ウ云ツタ交換分合ノ問題ハ法制化ノ問題モゴザイマセウガ、實際仕事ヤラナケレバナラス、是ハ新團體等ハ政府ノ協力機關デアリマスカラ、斯ウ云フ團體等ヲウント動カシテ、交換分合等ノ實際ノ仕事ヲヤラセルヤウ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○井野國務大臣 農地ノ交換分合ニ付キマシテ效果ヲ舉ゲタ事例ハ相當澤山ゴザイマス、例ヘバ長野縣ノ富士見村ナドデアリマスガ、分村計畫ヲ致シマシタ村ノ耕地分合ニ依リマシテ、反當リ收量モ殖エテ居リマス、又一戸當リノ農家ノ耕作面積モ殖エテ居ル事例モゴザイマス、今手許ニ持ツテ居リマセヌガ、御必要ガアレバソレハ差上ゲテ宜シイト思ヒマス、要スルニ今御説ノ通りノ氣持デ是カラモ農林省トシテハ指導シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○前川委員 交換分合ガ出來テ、段々斯ウ云フ傾向ニナレバ、増産ノ期待ハ出來ルノデアリマスガ、尙ホ今問題ニナツテ居ル肥料不足ノ問題、勞力不足ノ問題ガアルノデアリマス、ソレハ單ニ言葉ダケ仰シヤツテモ仕方ガナイ、實際色々ノ地方ヲ見マス、日本ノ稻ノ色々ハ變ツテ來ル居ルト思フ、吾ガ若イ時ニ見マシタ所ノ黄金色ノ稻ガナクナツテ來タ、何ダカ白ツボイ腐ツタヤウナ色ヲシテ居ル、是ハ確カニ地力ノ減退ダト思フ、恐ラク無機質肥料ニ依ツテ土地ヲ責メタ結果デハナイカト思フノデアリマシテ、本當ニ昔ノヤウナアノ黄金色ヲシタ稻

ヲ作ル爲ニハ、土地ノ榮養ト云ヒマセウカ、土地ノ健康狀態ノ回復ト云フコトガ一番問題ニナルノデヤナイカ、茲デ私ハ農林省ガ非常ニ努力サレテ居ル有畜農業ノ問題ガ考ヘラレルノデアリマス、土地ノ完全ナル榮養ト云フノハ、ヤハリ有機質肥料ダト思フノデアリマス、之ガ爲ニ今頃盛シニ堆肥ノ増産ヲヤラレルコトハ非常ニ結構デアリマシガ、ヤハリ其ノ基本ハ有畜農業デナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ有畜農業ノ御方針ハ非常ニ結構デアリマスガ、一番ノ問題ハヤハリ飼料ノ問題デアリマス、私ハ、飼料ガナイカラ、有畜農業ヲヤレナイ、無畜農家ガアツテモ宜イノダ、ト云フヤウナコトハ許サレナイト思フ、之ニ對シマシテ飼料等ニ付キマシテハ、政府モ出來ルダケ御盡力ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ代リ又農民ニ於キマシテモソレゾレ努力致シテ居リマス、例ヘバ「サイロ」ヲ作ルトカ、其ノ他ノ施設ヲヤルトカ致シマシテ、非常ニヤツテ居ルノデアリマス、是等ニ對シマシテ資材ガ十分廻ツテ居ナイト云フ點ガアルヤウニ聞イテ居リマス、ソレカラ獎勵等ガ今マデ餘リ具體的ニ地方ニ於テハヤツテ居ラヌ、私ハ「サイロ」ナドニ依リマシテ、飼料ヲ自給デ作ツテ行クコトモ一ツノ方法ダト思フ、ソレカラ色々ナコトヲヤツテ居リマス、厨芥利用ト云フコトヲヤツテ居ル所モゴザイマセウ、子供ガ山羊ヲ飼ツテ居ル所モアル、私ナドモ色々各地ヲ廻ツテ申スノデアリマスガ、卵肉共兼用ノ雞ヲ農家ノ人間ノ頭數ダケ飼ヘト云フコトヲ申シマスガ、是ハ大分ヤツテ居ル、是ハ農林省ノ方針モサウダト思ヒマスガ、是ガ大分擴ガツテ居ル、サウスルト日本ノ養雞

ノ羽數ト云フモノハ二倍三倍ニナル、是ハ自家飼料デ出來ル、獎勵ニ依ツテモ出來ル點ガ相當アルノデアリマス、僅カノ資材ヲ政府ガ斡旋シ、サウシテ指導宜シキサヘ得ルナラバ出來ル點ガ大變ゴザイマス、特ニ私ハ有畜農業ニ於テハサウ云フ點ガアルノデハザイカト思フ、何レ飼料問題ガ問題ニナル時ニ出ルト思ヒマスガ、一體村ニ雜草ガ何町何反歩生エテ居ルカ、山ノ淺木林ガ何町アルカ、池ノ堤ガドレ位アルカ、斯ウ云フヤウナ遊ンデ居ル土地トカ、河原トカ云フモノヲ考ヘテ見レバ、其處ニ萩ヲ植エテモ牧草ヲ植エテモ宜イ、サウ云フコトヲヤルニハ勞力ガ足ラヌト云フコトハアリマスガ、私ハソレハ國民學校ノ生徒トカ青年學校ノ生徒トカヲ使ツテ、種ヲ採ラストカ、ソレヲ刈入レサストカ云フコトヲヤラセマスタラバ、有畜農業ノ飼料ト云フモノハ自給デモ出來ルト思ヒマス、斯ウ云フコトハ指導宜シク御願ヒマシレバヤリ得ルト思ヒマス、特ニ今度出テ居リマス新シイ團體ハ、サウ云フ方面ニマデモ互ツテ、畜産組合モ入レテ居ルノデアリマスカラ、一ツ積極的ニ活動ガ出來ルヤウニ政府ハ御指示ヲ願ハナケレバナラヌノデハナイカト思ヒマス、特ニ此ノ際御聽キ致シテ置キタイト思ヒマスコトハ、養雞組合トカ、養豚組合トカ、養兔組合トカ、色々ノ畜産組合ガゴザイマス、是ハ任意組合デアリマス、當然新團體ニ吸收スルト云フコトヲ重政局長ハ申サレマシタガ、此ノ方法デス、斯ウ云フモノガ入ツテ來レバ、今申シマシタヤウナ仕事ハ積極的ニ出來マスガ、其ノ吸收ノ方法ハ簡易法人トシテ入レルノカ、個人ニ還元シテ入レルノカ、ソレトモ其ノ儘ノ團體トシテ

之ニ協力命令ヲ出シテヤラセルノカ、ソレデハ吸收ニナリマセヌガ、ドウ云フヤウナ方法デ以テ吸收サレルカ、是等ノ點ニ付テ御聽キシタイト思ヒマス

○井野國務大臣 吸收ノ方法ハ總務局長カラ御答ヘ申上ゲマスガ、大體ノ考ヘ方ハ今御述ベノ通り私モ考ヘテ居リマス、結局農村ノ肥料ガ無機質ニナツタ爲ニ耕地ガ瘠セタトモ私ハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、併シ有機質肥料ヲ此ノ際殖ヤスト云フ方針ニ付テハ全ク同感デアリマシテ、其ノ爲ニ有畜農業ノ獎勵モ、農林省ハ出來ルダケ一生懸命ニヤツテ居ル譯デアリマス、ソレニ對シテノ飼料對策モ御述ベノ通り「サイロ」ノ増設、或ハ又雜草其ノ他ノ刈入等ニ付テ勞力ヲ動員シマシテ、今日デモ出來ルダケ獎勵ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、隨テ昨年アタリモ、是ハ自給肥料デアリマスガ、十億貫ノ増産ヲ見テ居ルヤウナ譯デアリマス、今日相當ニ肥料、飼料ニ雜草其ノ他ノモノガ利用サレテ來テ居ルコトハ喜バシイ現象ダト考ヘテ居ルノデアリマス、今後モ新農業團體ガ出來マシタラバ、今御說ノ通りノ氣持デ指導シテ參リタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○重政政府委員 吸收ノヤリ方ハ、私共ノ考ヘテ居リマス所ハ、ヤハリ他ノ農會其ノ他ノ團體同様ニ是ハ全部入レルト云フ考ヘ方ヲシテ居リマス、具體的ニドウ云フ風ニヤルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ先般モ申上ゲマシタヤウニ、任意組合ニナツテ居リマスノデ、法律上ノ手續キハ此ノ法案ニハ規定ヲ特ニ致シテ居リマセヌガ、實際ハ設立委員ノ任命ヲヤリマス際等ニ於テ其ノ時カラ出來ルモノハ既ニ考ヘテヤツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○前川委員 ソレハ初メカラ畜産組合ノ中ニモ入レル譯デスカ、統合スル前ニ入り得ルモノハ入レル、ソレカラ後ハ新農業團體ノ畜産ノ部門ノ中ニ個人的ニ加入セシメル斯ウ云フコトニナツテ居リマスカ

○重政政府委員 サウ云フ譯デアリマス

○前川委員 ソレデハ此ノ特質ハ大分失ハレテ來ルコトニナリハシマセヌカ

○重政政府委員 特質ガ非常ニ失ハレルトモ私ハ考ヘテ居ラナイ譯デアリマス、ヤハリ地方ニ依リマシテ養豚組合トカ、或ハ養雞組合トカ云フヤウナモノガ、地方的ニ出來テ居ルノガ非常ニ多イト思フノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ地方ノ團體ニ於テハ、自ラ重要性ハサウ云フモノニ出テ來ルノデハナイカト考ヘテ居リマスノデ、寧ろ統合ニ依リマシテ先程御述ベニナリマシタヤウニ、有畜農業ヲ獎勵ヲ致ス意味カラ言ヒマシテモ、耕種農業トサウ云フモノトノ結付キヲ綜合的ニ計畫シテ參ル、飼料ノ點等ニ於テモ色々考ヘ行ク方ガ宜シイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○前川委員 ソレハ結構デスカニ技術ノ點ニ付キマシテ今年ハ稻ハ初メハ非常ニ調子好ク行テ居ツタノデアリマスガ、實際錄入レシテ後ニ見込ガ違ツタト云フ點ガアルノデアリマス、今年モ數字ノ上デハ相當良ク出來テ居ルノデアリマスガ、是モ實ハ私ノ方デハ四斗俵ガ十六貫建ニナツテ居ル爲ニ、實際ノ數字ノ儘デアルカナイカハ能ク分リマセヌガ、是ハドツチニシタ所デ結構ナ話デアリマス、問題ハ肥料ガ是程不十分ナ時デアリマシテ、最後ノ肥料ノダメガ效カナカツタト云フノガ、今年ノ豫想シタ程

出來ナカッタト云フコトノ原因デアルト農民ハ皆言ツテ居ルノデアリマス、ソレニ付テ施肥ノ指導ハ本省トシテ大イニヤツテ居ラレルコトハ思ヒマス、モット具體的ニ積極的ニオヤリニナル必要ガアルノデヤナイカ、私ハ大井上氏ト多少知合デアリマスガ、大井上氏ナカノ説ヲ聽キマス、現在ノ儘不足シタ肥料デ結構ダ、ソレデ出來ル、唯地域のニ適期ニ肥料ヲヤリサヘスレバ宜イノダト云フ意見デアリマス、斯ウ云フコトハ、勿論日本ノ農村ノ總テノ衆智ヲ集メテ居ル農林省デアリマスカラ、ソレ位ノコトハ分ルト思ヒマスガ、民間ニ於ケル斯ウ云フ意見ガ、單ナル意見デナク、實際上行ハレテ居ルトスラバ、サウ云フ者等ヲモ大イニ動かシタラドウカ、又地方ニ於キマシテハ特殊ナ技術ヲ持ツテ居ル農家ハ相當アルノデアリマスカラ、今動カシテ居ラレマス、斯ウ云フ者ニ組織ヲ與ヘテ、サウシテ中央技術本部ト云フノガ今出來テ居リマスガ、其處ヲ先頭隊トシテ其ノ指導ノ下ニ、新團體等ノ仕事トシテ低位農家ノ多イ地方ニ派遣シテ之ヲ指導シテ行ク、斯ウ云ツタヤウニ日本全體ノ優秀ナル農業技術ヲ低位農家ノ集團地方ニ持ツテ行ツテ引上ゲテ行ク、一縣デナクシテ全國的ナ規模ニ於テ之ヲオヤリニナル、而モ民間ニ於ケル遺ツテ居ル良イモノガアルナラバ、之ヲ引上ゲテ行ク、斯ウ云フコトニ依ツテ農業技術ノ一段ノ進歩ガナシ得ラレルノデハナイカト思フノデアリマス、農林省トシテハドウ云フ考ヘ方デアリマスカ、之ヲ承リタイト思ヒマス

方法ヲ改善シテ行クト云フコトハ極メテ重大デアルト考ヘテ居リマス、隨テ農林省トシマシテモ、農事試驗場等ヲ其ノ方向ニ今日活動スルヤウニ導イテ居リマスガ、唯此ノ施肥ノ問題ハ單ナル時期ノ問題ダケデナシニ、土壤關係モ非常ナ大キナ關係ヲ持ツ譯デアリマス、土壤調査ガ基礎ニナリマセヌト、徒ラナル時期のナ施肥ノ指導ヲ致シマシテモ、ソコニ大變ナ狂ヒガ出テ参リマス、隨テ土壤調査ト相俟ツテ其ノ地方々々ニ於ケル施肥標準ヲ或ル程度決メマシテ、施肥ノ指導ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ民間デ非常ナ良イ經驗ヲ持ツテ居ラレル場合ニハ、是ハ採用スルニ咨カデナイノデアリマシテ、現ニ東北ニ於テモ所謂分施ノ法、是ナドモ初メハ非常ナ技術的ナ議論ガアリマシタガ、山形デ非常ニ熱心ニ試驗場長ガ之ヲ唱ヘ、サウシテ實行致シマシタ結果、非常ニ好結果ガ實際ニ現ハレテ居リマスカラ、東北方面ニ於テハ分施ヲ今獎勵シテ居リマス、隨テ其ノ爲ニ足リナイ肥料ヲ以テ非常ナ立派ナ成績ヲ擧ゲテ居ルト云フ事例モアルノデアリマシテ、農林省ト致シマシテモ今御述ベノ通り、其ノ地方々々ニ於テノ篤農家ナリ、或ハ特殊ノ技術者ガ其ノ地方ニ即シタ良イ成績ヲ示シタ場合ニハ、理論ハ別トシテ兎ニ角進メテ行クト云フコトニ付キマシテハ、今後モサウシテ参リタイト考ヘテ居リマス

○前川委員 今ノ點ニ付キマシテハ私ハ意見ハアリマスガ、ソレハヤメマシテ、次ニ水利調整令ト云フモノガ現在ゴザイマスガ、私ハ此ノ水利調整令ヲモウ少シ強化シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ意見デス、ナゼカト申シマス、水ガアリ過ギテ出來ノ惡イ所ガアルシ、水ガナクテ出來ナイ所ガアル、一ツノ水ノ流れニ沿ウテサウ云フヤウナ土地ハ相當アルデヤナイカト思ヒマス、是ハ水利ノ利用方法ガ拙イノダト思ヒマス、是ハ慣行ニ囚ハレテ居リマシテ、中々簡單ニ動カナイノデアリマスガ、モウ少シ地方ノ農地委員會ヲ活動セシメルトカ、色々ソレニ對シテ此ノ人達ガ活動シ得ル根幹ヲ與ヘテヤル、水利調整令モ勿論結構デゴザイマスガ、稍、微温的ナノデ、中々ウマク行カナイト云フ點ガアルノデ、或ル點マデ力ヲ與ヘルニハモット強力ナ一ツノ調整令ノヤウナモノヲ御出シマシテ、ソレヲ基礎ニシテ地方ノ平和ヲ害サナイ程度ニ於テ水ヲ最高限ニ有效ニ使フト云フ點ニ付テモ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

尙ホ次ニ考ヘタイト思ヒマスコトハ、昨日モ議論ガゴザイマシタ農民ノ鍊成ノ問題デアリマス、今日各縣ニモゴザイマス、併シ收容人員ハ餘リ多クナイノガ多イノデアリマス、之ヲモウ少シ擴大シテハドウカ、ソレカラ内原及ビ信州等ニゴザイマスガ、是等ノ地方ニゴザイマスモノハ全國的ノ規模ノモノガ多イノデゴザイマス、色々ノ情勢カラ見マス、滿洲ヲ稍、對象ニシテ居ルノデハナイカト云フ感じモセヌデハナイノデアリマシテ、今日日本内地ノ農業ノ問題ヲ考ヘテ参リマス、非常ニ特異性ガアルノデアリマシテ、私ハ是非西日本ノ比較的集約農業ヲ經營シテ居リマス地方ニモ、サウ云フ地方ノ農業經營ノ技術ヲ修練セシメ、同時ニ精神の鍊成ヲヤル、斯ウ云ツタヤウナ農民道場ト言ヒマセウカ、内原的ノモノノ設立ハ是非必要デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘル譯デアリマス、私ハ是非農業ノ特異性ヲ活カス意味ニ於テ、斯ウ云フ御考ヘヲ一ツ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ尙ホ第三點ト致シマシテ、是ハ實ハ文部省ヘ申上ゲタイコトナノデアリマスガ、一般ノ農民ト云ヒマセウカ、農業ニ對シマスル先主觀念ガ都會人カラ拔ケナイ、先主觀念トマデ行カナクテモ、都會デ生レテ都會デ死ンデ行ク者ハ麥ヤラ稻ヤラ判ラナイ人ガ多イ、私ハ斯ウ云フコトデハ農業ノ重要性、農民ヲ以テ民族ノ培養基地トスルト申シマシテモ中々困難ダト思フノデアリマシテ、都會ニ於キマスル國民學校或ハ中等學校等ノ生徒ニ對シマシテ、農業ト云フモノニ對スルモット接近シタ教育方針ヲ採ラナケレバナラヌト思フ、例ヘバ今マデノ市農會ガ空閑地ヲ利用シテ、其ノ市民ヲ指導スルコトモ出來ルト思フガ、兎ニ角都市ガ農村ニ對シマシテ何時モ優越的ナ觀念ヲ持ツテ居ル、衣料切符ニ致シマシテモ、都市ノ方ガ多イト云フコトハ農民ニ取ツテ不平等アル、何デモ都市ニ農村ヨリ優越性ヲ持タセテ居ル、今頃ハサウデモアリマセヌガ、吾々ノ幼イ頃ノ教科書ニハ、村長サント言ヘバ山高ノ帽子ヲ冠ツテ、紋付羽織ニ靴ヲ穿イテ、蝙蝠傘ヲ持ツタ繪ガアル、百姓ト云ヘバ半纏ヲ着テ、股引ニハ膝ノ所ニ短冊型ノ繼ギガ當ツテ居ル、肩ニモ繼ギガ當ツテ居ル、是ガ文部省ノ檢定ニ依ル教科書ノ挿繪デアル、斯ウ云フモノガ農民ハ如何ニモ貧弱ナモノダト云フ感じヲ與ヘララウト思フ、恐ラク今頃ハサウ云フコトハアリマス、此ノ食糧事情ノ窮迫シタ時ニ於テハ、農民ニ對シテ違ツタ感じヲ持ツテ居リマセウケレドモ、私ハ農村ト云

フモノノ崇高サ、農業ト云フモノノ尊嚴性ト云フモノヲ、モウ少シ農林省アタリハ強ク意見ヲ出シテ戴イテ、都市ノ學校ノ生徒アタリニ對シマシテノ教育ノ中ニモ、作業教育ハシテ居リマスガ、特ニ最近ハ勤勞作業ナンカアルノデアリマスカラ、アレニ對シテモ、基礎的ナ教育ダケハ學校ノ農業ノ先生ニヤラスト云フヤウナ、モウト尊嚴精神ト云フモノヲ皇國農村ノ建設ノ線ニ沿ウテオヤリニナルコトガ、私ハ必要ナ時期デハナカラウカ、殊ニ今日ハサウ云フコトガ出來得ル時期デヤナカラウカト考ヘルノデアリマス、其ノ他御尋ネシタイ點ハゴザイマスガ、是ハ他ノ方ニモ關係アリマスノデ他ノ機會ニ御尋ネ申上ゲルコトニ致シマス以上デアリマス

○井野國務大臣 水利調整ニ付キマシテハ御説ノ如ク極メテ重大ナ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ農村トシマシテモ從來カラ血ノ雨ヲ降ラスヤウナ大キナ問題デアリマシテ、強制力ノミヲ以テ是ガ解決ノ出來ナイ場合モアリマスノデ、現在ノ水利調整令ノ程度ヲ以テ善處シテ行クコトガ適當デアル、而モ是等ノコトニ付キマシテハ新農業團體トシマシテモ、今後相當ノ役割ヲ演ジテ貰ハナケレバナラヌト思ツテ居リマス、サウ云ツタ、政府ハ殊ニ府縣及ビ此ノ農業團體等ガ相俟チマシテ、水利調整ノ問題ハ適當ニ善處シテ参リタイト考ヘマス

又鎮成機關ノ問題ハ、其ノ重要性ニ鑑ミマシテ今回皇國農村確立促進ノ經費ノ中ニモ、數府縣ニ鎮成機關ヲ新タニ設ケマシテ、サウシテ其ノ費用ヲ國庫ガ全額負擔スルト云フコトマデ致シマシタノモ、今御述ベノ趣旨ニ依ルモノデアリマス、勿論今後モ此ノ施設ハ出

來ルダケ擴充致シテ参リタイト思ツテ居リマス、又都市ニ於ケル國民學校ノ教育方針トシテ、農村並ニ農業ノ重要性ヲ十分ニ強調セシメテ行クコト云フコトハ、全く私共モ同感デアリマス、文部當局ニ對シマシテモ、固ヨリサウ云ツタ氣持デ申シテ居ルノデアリマスガ、最近ハ御承知ノ通り食糧問題ガ極メテ重要ニナツテ参リマシタノデ、米ナリ麥ナリガ如何ニ大切デアルカト云フコトハ、モウ都會ノ子弟ノミナラズ、大人モ皆最近デハ、天氣マデ心配スルヤウニナツテ來テ居ルノデアリマスカラ、殊ニ農村ノ人ガ勞力、肥料ノナイ今日、非常ナ努力、涙ガマシイ奮闘デアノ結果ヲ收メテ居ルコトヲ能ク認識シテ來テ居リマス、隨テ吾々ノ子供達モ皆オ米ハ有難イ、農村ハ貴イモノダト云フコトヲ相當深ク認識シテ參ツテ居リマスカラ、今ノ教科書等ノ色々ノ改訂ノ問題ハ、是ハ文部省ノ所管デアリマスカラ申上ゲラレマセヌガ、サウ云ツタ狀態デアリマス、今御述ベノヤウナ趣旨ハ相當徹底シテ來テ居ルモノト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○前川委員 今ノ數府縣ニ鎮成道場ヲオヤリニナルト云フノデアリマスガ、一體ドノ地方デアリマスカ

○井野國務大臣 今豫算書ヲ持ツテ來テ居リマセヌカラ、ハツキリ覺エテ居リマセヌガ、縣ノ名前ハマダ決メテ居リマセヌ、數ハ慥カ七ツカ八ツダト思ツテ居リマス

○前川委員 ソレハ内原ノ大規模ナモノデアリマスカ、ドンナモノデアリマスカ

○井野國務大臣 ソレハ内原ノヤウナ大キナモノデアリマセヌ、今日各府縣ニ農民道場ガアリマスガアア云ツタ程度ノモノデ

アリマス

○前川委員 ソレヲモウ少シ大キク集約サレテオヤリニナツテハドウデスカ、地方ノ農民道場デオヤリニナルコトモ宜シイノデスガ、ヤハリ内原ヘ三十日カ四十日行ツテ來ルト、人間生レ變ツテ來ルノデアリマスカラ、ヤルナラバアア云フ大キナモノヲオヤリニナツタ方ガ宜イデアリマセヌカ

○井野國務大臣 餘リ大キナモノヲ方々ニ澤山作リマシテモ、是ハ輸送ノ關係、又食糧ノ關係等色々ナ點カラ非常ニ難カシイ、内原ノ經營自體デモ中々アレダケヤツテ参リマスノニハ色々ナ苦勞ガ要ルノデアリマスカラ、是ハヤハリ地方々々ニ即應シタ府縣單位ノ鎮成機關ヲ持ツテ、併用シテ行クコト云フコトガ適當デハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○東郷委員長 農林大臣ハ先刻カラ豫算總會ノ方デ要求ガ參ツテ居リマスカラ、此ノ際豫算總會ノ方ヘ出席セラレマス

○松浦(伊)委員 此ノ法ノ第十一條ノ命令事項ノ中ノ第三ニ「貯金」資金ノ貸付「ト云フコトガゴザイマス、其ノ資金ノ貸付ノ中ニ「農事實行組合、養蠶實行組合等ニ對シテゴザイマスガ、此ノ「等」ト云フ範圍ハ何處マデノコトヲ御指シニナルノカ、地方ノ耕地整理組合ト云フモノガ事業ヲ致シテ居リマシテモ、町村ノ公共團體等ニ從來ハ貸付ヲ致シテ居ラスノデスガ、將來ハ之ニ貸付ヲシ得ルコトニナルノデアリマスカ、此ノ點ヲ御尋ネ致シテ置キタイ

○重政政府委員 私共ト致シマシテハ、只今御指摘ニナリマシタ耕地整理組合デアリマス、色々ナ團體ニマデ資金ノ貸付ガ

出來ルヤウニ致シタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマスガ、是ハ大藏當局トモ十分相談ヲ致サネバナラヌ事情モアリマスノデ、此處デハツキリ農事實行組合、養蠶實行組合以外ノ團體ニ付テ、サウ致シマスト云フコトハ一寸申シ兼ねマスガ、出來ルダケサウ云フモノニ對シテモヤリ得ルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ心持ヲ持ツテ居リマス

○松浦(伊)委員 從來耕地整理組合ト云フモノニハ、貸付ガ出來ヌコトニナツテ居リマシテ、折角地方ノ組合員ガ貯金ヲシテ、其ノ貯金ハ三分四厘位デ縣聯ノ方ニ預ケテ置イテモ、更ニ之ヲ低利資金トシテ五分何厘ノ金ヲ借りルノスラ實ハ困ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、寧ロ斯ウ云フモノハ耕地整理組合トカ、或ハ市町村ノ暫定的資金ナドニハ、私ハ當然利用サセテ宜シイと思フ此ノ際ニガ是非實行出來ルヤウニ御奔走ヲ願ヒタイト思ヒマス

○東郷委員長 暫時休憩致シマス、午後一時半カラ再開致シマス

午前十一時五十分休憩

午後一時五十九分開議

○東郷委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、農林大臣ガ豫算總會ノ方ニ出席シテ居ラレルノデ、コチヲ方ニ御出席ガ一寸出來兼ネルヤウナ狀態デゴザイマス、若シ大臣ガ居ラレナクテモ質疑ヲ繼續セラレル方ガアレバ會議ヲ繼續シマス、サウデナケレバ散會致シタイト思ヒマス——ドナタモ御質問ガナイヤウデスカラ、本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明後日午前十時カラ會議ヲ開クコトニ致シタイト存ジマス

午後二時散會